



とつお
戸塚

てつお
哲夫

議員



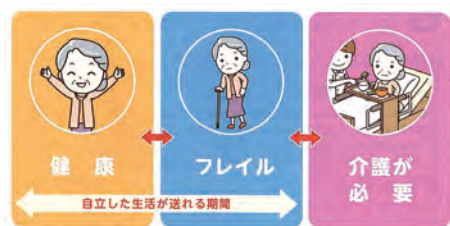
**被災者生活再建
システムの導入を**

問 袋井市が導入する
場合、初期費用・年
間維持費は。

答 初期費用は、約2
000万円、利用料
金や通信費、システム操作
研修費など年間維持費は約
300万円を見込んでいます。

問 国が主導して整備を
進めるべきではないか。

答 国がシステムの導
入を推奨し、静岡県
が県内で統一したシステム
の導入を検討したが、まと
まらず、各市町が独自でシ
ステムを選定し、導入が進
められている。システムの
利用は被災者支援事務の迅
速化・効率化につながるが、
一方で災害発生時に使用す
るシステムであるため汎用
性が低い。今後導入に向
けた研究、検討をしていき
たい。



フレイルとは

フレイル対応

問 「eフレイルナビ」
の導入検討をしたら
どうか。

答 今後、現在と同様
の方法による対象者
全員への個別訪問を継続し
ていくことは困難で手法を
検討していく必要がある。
このことから先進自治体の
導入状況や費用対効果を確
認し、「eフレイルナビ」
を含め、デジタル技術を活
用した取組を検討していき
たい。

**道路橋梁等の
老朽化対策を優先に**

問 舗装修繕について、
計画と実績、また今
後どのように取り組んでい
くのか。

答 令和2年3月に策
定した「袋井市舗装
維持修繕計画」に基づき、
修繕を実施している。計画
で位置づけた「予防保全型」
のうち、路面性状調査によ
り早急に修繕が必要となっ
た4路線、1.7キロメートル
について、令和7年度まで
に修繕することになっている。

問 舗装修繕における
新技術の導入状況は
どうか。

答 昨年度より車両に
搭載したセンサーに
より、構造を把握する、コ
スト面に優れた新たな調査
方法を導入している。車載
カメラで撮影した画像など
をAIにより解析する、路
面劣化自動検出サービスに
についても採用を検討したい。



道路舗装維持修繕された市道(友永地内)

※有機フッ素化合物

**PFA S
汚染に関する対応は**

問 市内消防機関や公
共施設にPFA Sを
含んだ泡消火薬剤を使用し
た消火器及び泡消火設備は
あるか。

答 袋井消防本部が市
内にPFA Sを含ん
だ泡消火薬剤は保有してい
ない。加えて、平成10年以
降、PFA Sを含んだ泡消
火薬剤を購入していないこ
とを確認している。

**耐震化と
複合災害対策は**

問 複合災害への認識
と対応はどうか。

答 南海トラフ巨大地
震や近年の異常気象
に伴い、多発する風水害の
ほか土砂災害、原発災害な
どは単独で発生するとは限
らない。業務継続計画の見
直しや広域受援計画の整備
など必要な防災体制の見直
しを図っていきたい。

**クーリングシェルター
確保は**

問 本市のクーリング
シェルター設置の実
態はどうか。

答 公共施設は、市内
14コミュニティセン
ターと総合健康センター、
月見の里学遊館、メロポー
ラザなど20カ所を指定し、
民間施設は、大型商業施設
1カ所、ドラッグストア3
カ所、郵便局9カ所、合計
で13カ所を指定している。



クーリングシェルターのチラシ



こんどう
近藤

まさみ
正美

議員



**森林管理の
実態はどうか**

問 森林管理の実態を
どう把握しているか。

答 市内民有林の約3
60ヘクタールの所
有者600人のうち、伐採
や枝打ちなど管理している
人が約2割、管理をしてい
ない人が約8割である。所
有者の高齢化や相続による
担い手の減少など、林業経営
として採算が見込めず、管
理が十分でない状況である。